

コンベンション強化策は

町長／予算枠拡大の方向で



高嶺実樹雄議員

高嶺 コンベンションのまちづくりを更に推進することにより、経済効果等様々な波及効果が望まれると思うが、取り組み体制は。

町長 コンベンションタウンさつま推進協議会を核として、更なる振興を図るためにも、施設の充実と有効活用、町内宿泊施設と連携しながら、ホームページなどを利用し情報発信に努めると共に看板の設置や予算枠拡大の方向で検討してまいります。

イベントの今後の

町長／関係課と早い段階で検討

高嶺 町全体に定着したイベントの在り方が急務であると思うが、今後の進め方については、どのような考えか。

町長 これまでの経緯、住民の意向等を踏まえながら、一本化できるものは早急に一本化します。地域が主体的に取り組んでいるイベントについては、地域の主体性を尊重し、地域独自の特色あるイベントとなるように更なる支援、協力をしてまいります。



サッカー合宿（かぐや姫グラウンド）

良質米生産地域を活かせ

町長／反省に立ち最大限の努力



新改幸一議員

新改 米産地として、55町歩程度作付分を返納しているが、良質米産地として大変残念。来年度はどのようにして推進して行くのか。

町長 目標面積に達しなかった原因として、農業者の高齢化、近年の米価下落や鳥獣害による作付

意欲の低下等もあると思われる。来年度に向けては、関係機関、団体との連携を図りながら、制度の周知と作付け可能な水田の把握を行い最大限努力いたします。

稲わらは地元畜産農家へ

町長／耕畜連携で産地育成を

新改 家畜市場統合誘致の課題は、管内の増頭が問題視される。畜産にとって稲わらは必要不可欠。今後どのように推進されるか。

町長 畜産経営の維持増頭を図るため稲わらの確保は重要であります。耕種農家への稲わら活用の啓発や国・県の各整備事業等、有利な補助事業に併せて粗飼料自給率の向上に努力します。

また、家畜市場統合誘致は、管内の最重要問題でもありますので積極的に対応してまいります。

その他の質問
・地域農業公社の設立について



倉庫内の稲わら（虎匠地区）